

事業名（団体名）：豊かな里山づくりサポート事業（特定非営利活動法人さんむ杉のこ会）

目的

山武市とその周辺地域は江戸の昔から建築材、船材、建具材として優良な「サンプスギ」を生産してきた地域だが、現在では荒廃林が目立つ状況である。こうした中で頑張っ手入れを続けている山主を応援し、山武地域ならではのサンプスギ林の管理手法を継承し、サンプスギの里山の生物多様性を維持することを目的としている。

内容

かつての山武林業の特徴的な土地利用であった「木場作」を、荒廃した森林の管理手法として現代に活用できないか、検討を行った。

【木場作（こばさく）とは】

苗木が大きくなる間、木と木の上に麦や落花生などの作物を作る、平坦な土地に木を育てる山武独特の方法。木場作は小作人に任せられ、地主は草刈の負担がなくなり、小作人には木場作は年貢を納めなくても良いというメリットがあった。

植物調査を行い、自生する有用作物の中から育林と作物生産の両立を図れる方法の検討。



（森の様子）



（搬出した間伐材）

今後の方針

湧水が幾筋もある恵まれた環境を活かし、芹や茗荷の栽培を試みる。森林空間を活かせるよう切捨て間伐材の搬出や林地残材の処理により、親しみを持ってもらえる森づくりを目指す。

団体概要

荒廃林が目立つ地域の里山環境の改善には、地域住民や市内外の人たちが森に関心を持つことが必要と考え、100年後の美しい森と明るい地域の未来を創造するための、「森と暮らしを繋げる」活動を行っている。

これまでの主な活動

市民が楽しく芸術活動に参加することで、里山のごみ投棄問題などの環境問題を考えるきっかけづくりをする活動。

平成21年12月「ゴミでアート in 日向の森」

平成22年2月「第2回ゴミでアート in 日向の森」

平成22年10月「森をまつる in 日向」

その他に、自然観察会の開催、サンプスギの切捨て間伐材の搬出方法の検討、サンプスギ病害木利用のための商品開発、木質バイオマス利用方法の検討などを行っている。



（会のメンバー）



（不法投棄防止看板）

住所：〒289-1523 山武市松尾町五反田 3011 番地 8

電話：0479-86-5477 代表者：嶋田照夫

Mail：kikkai8kikuzho@ezweb.ne.jp

HP：http://www.tokigane.net/hp/npo-suginokokai/index.html